

# 中学校の部活動指導のサポート～文教委員会の報告～

## ●非正規職員の待遇は?(10月3日 委員会)

地方自治法等の改正により、来年度から非正規職員が会計年度任用職員に移行される予定です。法改正の趣旨は身分明確化と待遇改善。実際の改善に繋げるために3つの観点で要望しました。①賃金→確実な財政措置を(地方財政計画では交付税措置されるとのことですがあくまで全体的な交付税措置)、②雇用→一年ごとの契約スタイルが雇用の不安定にならないように、③待遇→少なくとも現状維持を。尽力いただいている非正規職員の方々にとって待遇改善になる制度移行になるよう、今後も声を上げます。

## ●中学校の部活指導のサポートを!(10月28日 委員会)

中学校の部活動に民間の指導員を配置する「部活動指導員」という事業を今年度より実施中。教員の多忙化が問題視される中、広めたい取り組み。しかし導入は県下20市町/41市町のみ(伊丹市は導入中)。未導入の理由は、人材不足と経費負担(三分の一が市町負担)です。人材のサポートと経費負担の見直しを訴えました。

## ●仕組みを作ってほしい(12月11日 特定テーマ調査研究 意見交換会)

元陸上選手の朝原宣治氏とスポーツ振興について意見交換。朝原氏は神戸ご出身で、北京オリンピックで銀メダルを獲得。現在は陸上競技クラブを主催し、次世代育成や地域貢献に取り組んでおられます。朝原さんに「スポーツ振興について兵庫県は何をすれば?」と質問すると「単発のイベントだけでは継続しない。仕組みを作ってほしい」とのこと。生涯を通じてスポーツに携われる仕組みづくりの必要性を学びました。



朝原宣治氏と

## ●コミスクは熟議がポイント!(11月13~15日 九州方面 管外調査)

◇ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅@鹿児島県大崎町 トレーニング合宿

◇鹿屋体育大学@鹿児島県鹿屋市 スポーツに特化した大学

◇北九州メディアドーム@北九州市 競輪場の多目的活用

◇福津市教育委員会@福岡県福津市 コミュニティスクール

◇福岡市教育委員会 いじめゼロプロジェクト

◇福岡県立嘉穂特別支援学校@福岡県嘉麻市 障害者スポーツの拡大

◇福岡県スポーツ振興センター@福岡市 スポーツ振興の拠点施設

北九州メディアドーム(小倉競輪場)。ドーム型施設をイベントなど多目的に利活用。



印象に残ったのは福津市のコミュニティスクール(保護者や住民が学校運営に参画する会)の取り組み。福津市は全小中学校でコミスクを実施中。「定着させるには?」→「カリキュラムがポイント」。「主体的能動的なコミスクにするには?」→「熟議です!調整役の地域コーディネーターもポイント」。コミスク発展途上の伊丹市、参考にしたい。

## データでみる兵庫県

●**兵庫県の森林率→67%** 県土の67%が森林です。県が森林対策や林業支援の役割を担っていることを実感する数値。ちなみに昭和30年代、日本の木材自給率は約90%だったのが、現在は約40%、安価な外国産木材が主流になっています。社会状況を鑑みながら、県の森林のあり方を考えていかねばなりません。

●**兵庫県の薬物乱用防止教室の実施率→66.1%** 小学校・中学校・高等学校あわせての実施率66.1%(2017年度)。この実施率、41位/47都道府県。つまりワースト6位です。防止教室を開催したら薬物乱用が根絶できるわけではありませんが、子どものうちに薬物の恐ろしさを認識し、薬物への意識のハードルを上げる上で有効な手段であることは間違いありません。実施率を向上しなければなりません。

●**兵庫県庁の男性育休取得率→1.7%** 小泉環境大臣の取得などで注目されている男性の育休、都道府県の男性職員の取得率は、岐阜県9.1%、高知県7.3%などの中、兵庫県は1.7%です(2017年度)。次年度は5.8%まで持っていきましたが、他府県も上げてきており未だ低い方。県庁の取得率向上は民間企業への波及効果もあるでしょう。意識向上と制度充実(補助金など)に取り組み、子育てしやすい社会をつくっていきます。